

Sow the Seeds of Love



慈愛の種を
播きましょう

2002-2003年度 国際ロータリーのテーマ

RIテーマ

Weekly Report



クラブ会長テーマ

和楽、そして慈愛の種を播こう!

2002-12-4 第585回例会 NO. 13-21 2002-12-11 発行

◎司会 SAA委員会 小泉 博

◎点鐘 会長 小坂 一郎

◎国歌斉唱
ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 吉沢 洋景

◎お客様紹介 会長 小坂 一郎
・多摩中央警察署署長 丸山和喜夫 様

◎会務報告 会長 小坂 一郎

《第9回理事会での決定事項》

- ・クリスマス例会の予算案が、親睦活動委員会より提案がありました。全員登録で会費は10,000円です。理事会にて一部修正の後、了承されました。(臨時理事会10回で決定)
- ・3クラブ合同の寿例会について
多摩RC・稲城RCと打ち合わせを行ない、決定しました。会費は5,000円です。全員登録です。
- ・ポリオチャリティ観劇会の切符が1枚残っておりますので、どなたか購入して頂きたいです。

◎幹事報告 幹事 平野 行廣

- ・新入会員候補のお知らせを配布しました。異議のある方は12/10までに文書にてお申し出下さい。
- ・第23回ローターアクト地区年次大会のご案内が来ております。2003年4月13日(パルテノン多摩)です。参加希望者は事務局まで。
- ・全国ローターアクト研修会のご案内が来ております。12月27日です。参加希望者は事務局まで。
- ・毎年当クラブより協賛しております多摩市障害者美術作品展の出版一覧表を回覧します。
- ・国際ソロプチミスト稲城よりチャリティーゴルフのお誘いが来ています。来年2月26日です。参加希望者はゴルフ同好会までお申し込み下さい。締め切りは今月の26日です。
- ・2001年度バギオの事業報告書が届きました。

【委員会報告】

◎出席報告 出席委員会 加藤喜三郎

- ・会員総数 43名
- ・出席義務者数 42名 (出席免除者4名)
- ・出席者数 34名
- ・欠席者数 8名 (事前MU0名)
- ・出席率 80.95%

- ・欠席者：阿部 華歌、遠藤 二郎、藤原 正範、福島 達也、北村 幸彦、杉山 英巳、高野 範城、由井 眞司
- ・補填MU：宮本 誠 12/3 東京多摩RC

11/20 最終訂正出席率 69.05%

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 宮本 誠

- 小坂 一郎 丸山署長、本日の卓話宜しくお願ひ致します。
- 平野 行廣 丸山署長、卓話宜しくお願ひ致します。
- 関岡 俊二 丸山署長ようこそ。
- 藤本 吉文 先週、先々週と2回例会欠席しましたので。
- 杉野志保子 いよいよ12月、何かと忙しく大変です。
- 玉木 直美 多摩市音楽家協会のコンサートに小坂会長と共に招待されました。小坂会長宜しくお願ひ致します。
- 伊澤ケイ子 米山奨学会宜しくお願ひ致します。
- 加藤喜三郎 丸山署長さん、卓話楽しみです。
- 足立潤二郎 多摩中央警察丸山署長、卓話宜しくお願ひ致します。
- 津守 弘範 先週の例会休みましたので・・・
- 海野 榮一 師走ですね・・・。

本日の合計¥15,000(累計¥504,250)

◎その他の報告

- ・米山奨学委員会 委員長 伊澤ケイ子
まず、最初に、現在までの累積寄付額を配布します。今後とも、ご協力をお願いします。
さて、11月28日に行なわれた、米山委員長会議のご報告をします。1996年を境に、寄付金が減少しています。今まで寄付金

東京多摩グリーンロータリークラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL 042 (372) 6463 FAX 042 (372) 6491
E-mail tamagr@cello.ocn.ne.jp

【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階

【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30

【会長】小坂一郎 【幹事】平野行廣 【委員長】藤原正範 【副委員長】杉野志保子

【委員】阿部華歌・赤尾恭雄・藤本吉文・小林正・関岡俊二・吉沢洋景・正房正孝

のみで出来た事業も、98年以降は運営が苦しくなり、現在では繰越金もなく、特別積立金をとり崩して運営している状態です。今現状を分析しており、奨学生の減少や寄付金の額の変更など、システムの具体的な見直しの検討を始めたところです。当クラブでは米山功労者（4回以上）が1名、もうすぐ3回の方が1名、2回も1名、1回の方が11名います。いくらでも結構ですから、今後も、ぜひお気持ちを形にしてください。

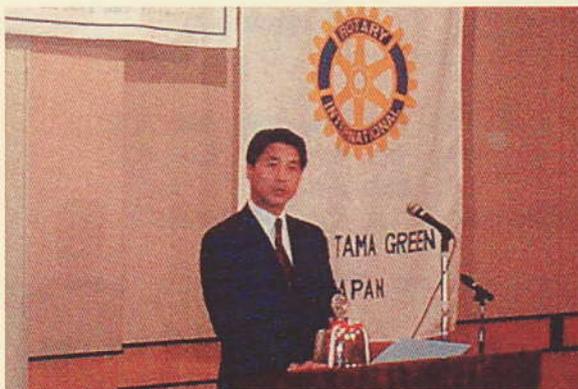
・SAA委員会

委員長 小泉 博

欠席報告を早めにお願いたします。欠席の連絡はなるべく例会日の前日の、午後4時までに事務局にしてください。
また、本日来年の寿例会の打ち合わせをします。

◎卓話

多摩中央警察署署長 丸山和喜夫 様



石川県の片田舎で生まれ、東京に出てきて約30年となりました。しかし、石川県なまりはなかなか抜けません。4人家族で、趣味はスポーツ全般。今でも朝7時半から、毎日剣道場で汗を流しています。本日のお話は「剣道と私」です。

お手元の原稿は、以前に警察関係の機関紙に掲載したもの的一部分です。ご参考にしてください。警察官は柔道か剣道をどちらか選択しなければなりません。つまり、必修科目となっているのです。私は警察官になって始めて剣道の竹刀を手にしました。それから毎日剣道の稽古を行なっています。警察で3段を取得し、その後第4機動隊（当時市ヶ谷、現立川）に配属になりました。そこで、武道の指導者を目指す部署に配属となりました。朝は7時から8時まで稽古。午前と午後は2時間の稽古と、毎日剣道ばかりをやってきました。地獄のような毎日でした。



当時、私以外は若いころから剣道だけをやってきた者ばかり。警察に入ってから始めた私は、当然技ではかきません。辛い毎日でした。幾度もやめようと思いましたが、そのたびに田舎の両親の

顔が浮かんで来て思い留まりました。指導する先生も厳しく、時計に半紙を張って時間を隠したり、真夏に扉を閉め切って蒸し風呂のような中で稽古をさせられました。その先生いわく、剣道は技が2割、気力が8割である、といました。その先生のおかげで現在の私があると思います。そして、剣道こそが私を支えているのだと思います。



さて、次に私が日頃から署員や、自分自身に言っていることをご紹介します。まず最初が「元気が一番」です。元気は創造の源です。元気がなければ何をやってもだめです。結果が歴然と出てきます。今年の阪神タイガースの元気は、星監督の元気・負けん気であったと思います。挨拶や歩き方は常に元気を出して、堂々と言っています。私は熱烈な巨人ファンですが・・・。

2番目は「2本の物差しを持って」です。長い間の勤務できた警察官としての「ものさし」だけではなく、一般社会人としての常識・良識を持ってと言うことです。我々の使命は国民の生命財産を守ることであり、国民のための警察官であることを意識して欲しいと言っています。

3番目は、「詰める・攻める・確かめる」です。詰めるは、現状打破の気持ちで物事を見つめること。攻めるは、責める気持ちで、決して守りに入らないこと。確かめるは、「～はず」ではなくて、何事も自分の目で確かめると言うことです。

4番目は、「拙速と巧遅」です。スピード感と詰めを誤らないような的確な判断力を持つことです。

5番目は、「四猿（見ザル、聞かザル、言わザル、行わザル）」です。規律違反に気付いていながら見て見ぬふりはだめと言うことです。気付いたときに気付いたことをいうべきです。幹部は煙たがられて当たり前だと思っています。人気がある幹部より、信頼される幹部になりなさいと言っています。最後は「事故防止のABC」です。当たり前のことを当たり前に行うことは大切です。

最後の二本定刻主義は、パソコンの打ち間違いではなく、お酒はほどほどにと言うことです・・・。

◎点鐘

会長 小坂 一郎

（今週の担当 藤原 正範）